

学びと語らいの場を通じた学校、家庭、地域の「かかわり」づくり

和歌山県串本町

■ 活動名

串本町地域共育コミュニティ推進本部

■ 関係する学校

串本町内全小中学校(10小学校、5中学校)

活動区分		コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
基本データ	学校支援 地域本部	13人	100人	20年度	有
	放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		実施場所		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
	コミュニティ スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	その他				

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

活動の概要

串本町では平成21年度に串本西小中学校区を推進地域に指定し、2名のコーディネーターを配置した上で、活動の内容に応じて区の役員、老人会、婦人会、区民などが参加・協力し、学校、家庭、地域が一体となって子供の育ちや学びを支え、地域ぐるみの教育を推進するとともに、人と人とのつながりを構築するための仕組みとなる「共育コミュニティづくり」をスタートさせた。また、平成24年度には、町全体を統括するコーディネーター1名を新たに配置し、「共育コミュニティづくりの全町展開」に向けた体制を整え、共育コミュニティづくりにつながる具体的活動である「学校支援活動」、「地域づくり活動」、「共育ミニ集会」の拡充・充実に努めている。

■ 特徴

【特徴的な活動内容】

学社連携の推進

- 社会教育担当職員が計画的に学校訪問を行っている。
- 学校教職員が社会教育関係職員等研修会に参加している。
- 全小中学校の地域と連携した活動の集約を行っている。

活動の充実

- 町内全小中学校にコーディネーターを配置している。
- 地域連携担当教員及びコーディネーターの研修会を実施。
- 公民館報に「共育コミュニティのページ」を配している。
- 過去5年間の活動を集約したリーフレットを作成・配布。

【実施に当たっての工夫】

地域の事情や人に詳しいコーディネーターを全小中学校に配置(委嘱)したことで、より多様な個人及び団体の参画による「学校応援団」が組織されている。一方で、「何か新しいことを始める」というイメージではなく、既存の活動を「共育コミュニティの視点」から捉え直すことで、活動の継続性をねらっている。子供にとって、地域にとってより良い活動に結びつくよう、本事業に係る評価を心がけている。推進本部会議の他、教育委員会、校長会等で共有している。



ウォークラリー

■ 事業を実施して

地域から学校がなくなってしまった和深地区では、閉校した学校の体育館で「コミュニティ防災学習会」を開催し、保育園では保護者が車座になって「コミュニティ子育て懇談会」を開き、地域内をコースにした「ウォークラリー」を開催している。「子供の声、チャイムの音が消えた『隙間』を、共育コミュニティづくりが少し埋めているようである」という一般参加者の感想や、「教師の年齢層がどんどん若くなる中で、『昔の道具』といってもピンとこない。そんな中で地域の方に来ていただいて実演をしていただいたり、昔の道具を使って魚を焼いて食べたりする活動が実現している。本当にありがたいと思っている」という教員の感想がある。

■ その他

『家庭教育』や『防災』といった学校が抱える課題の解決に、共育コミュニティの取組を活用したい」と申し出る学校が増えている。子供や学校に係る課題に対して、学校、家庭、地域が協力して取り組もうとする雰囲気が高まっている。



小中学校合同クリーン作戦